

1 教育目標

【教育理念】「創造」

「ふるさとを愛し、地域社会に貢献する」 「良識を培い、礼節を重んずる」 「社会の要請に応え、構想する力、実践する力を育む」

【学院スピリット】

「笑顔で挨拶 感謝の心と礼節ある行動 ひたむきに頑張る 学院高生」

【教育方針】

- (1) 自分の個性を理解し、自らの在り方生き方を創造する力を育てる。
- (2) 高い志と意欲を持って主体的に学び、未来を切り拓いていく力を育てる。
- (3) 他者に対する感謝の心をもって礼節ある行動ができる力を育てる。
- (4) 何事にもひたむきに取り組み、最後まで諦めない心とたくましい身体を育てる。

2 育てたい生徒と望ましい教師・目指す学校の姿

(1) 育てたい生徒

- 自分の課題を明確にし、誠実にひたむきに取り組み、勉強でも部活動でも最後まで諦めず取り組む生徒
- 自ら考え行動し、自分の選択に責任を持つ生徒

(2) 望ましい教師

- 教育の専門家として専門性を高める努力を怠らない教師
- 新しいことに挑戦していく姿勢を生徒に示す教師
- 教職に対するひたむきな情熱を持った教師

(3) 目指す学校の姿

- 生徒が自分の成長を実感できる学校
- できないことができるようになる学校
- 共に高め合う学校(生徒と生徒 生徒と教師)
- 生徒が入学して良かったと思える学校

3 学校評価…網掛けは今年度の重点課題

令和7年度 金沢学院大学附属高等学校 学校評価 NO1								
教育方針	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	達成度判断基準	評価		改善策
						前期	後期	
1 ●自分の個性を理解し、自らの在り方生き方を創造する力を育てる	① ●自己の個性や適性を理解し、未来を生き抜く力を育むキャリア教育を推進する。	進路指導課 学年会 教科会 キャリア教育 研究委員会	●キャリア教育研究委員会を中心に、未来を生き抜く力を育むキャリア教育の推進計画について検討を進めている。 ●1年次は、KGE、2、3年次には、オープンキャンパスで大学・短大の学びを体感させることで進学意欲を高めている。また、大学・短大と授業や部活動での連携や単位先取りも積極的に進めている。 ●特進コースでは、一人一人に合った個別学習プログラムを作成するとともに、土曜日を隔週で授業日とし、週37時間の授業時数を確保する。国数英をより一層強化し、新教育課程生として初めてとなる共通テストに備えることとしている。また、部活動が終わった生徒に対し、授業のない土曜日に9時間の自主学習の場を提供し、学習体力を高めることとしている。 ●放課後の個別添削指導や個人面談を実施し、一人一人の目標達成を支援している。 ●教員を対象にした研修会を実施し進路指導スキルを高めるように努めている。(小論文、志望理由書、面接)	【努力指標】 ●本校は生徒の自己実現や進路実現のために、進路ガイダンス、上級学校見学、自己理解、模擬試験などに意欲的に取り組ませている R6後期・86%	【保護者アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	86%	85%	
				【努力指標】 ●本校は生徒の進路に決定にあたり、家庭と連携した指導がされている。 R6後期・81%	【保護者アンケート】 A:90% B:85%以上 C:80%以上 D:80%未満	80%	81%	
				【成果指標】 ●自分の進路を意識して勉強している。 R6後期・77%	【生徒アンケート】 A:80% B:75%以上 C:70%以上 D:65%未満	72%	75%	
				【成果指標】 ●進路先最終未決定者(浪人除く)の人数を少なくする。 R6・2人	A:0人 B:1~3人 C:4~6人 D:7人以上			
				【満足度指標】 ●本校の進路指導に満足している。 R6後期・92%	【3年生徒アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満		92%	
		【満足度指標】 ●決定した進路先に満足している。 R6後期・97%	【3年生徒アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満		96%			
	② ●金沢学院大学、金沢学院短期大学と連携した「高大接続プロジェクト」を積極的に推進する。	進路指導課 学年会 教科会 キャリア教育 研究委員会	●文部科学省「DXハイスクール」の継続指定を受け、金沢学院大学情報工学部の支援のもと、特色ある授業を行いデジタル人材の育成に取り組んでいる。	【努力指標】 ●本校は体験的な学習(オープンキャンパス、インターンシップなど)に意欲的に取り組ませている。 R6後期・89%	【保護者アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	86%	87%	
				【成果指標】 ●学院大・短大の単位を先取りした生徒数が増えた。 R6・58人	A:60人以上 B:50人以上 C:40人以上 D:40人未満		105人	
				【成果指標】 ●金沢学院大学、金沢学院短期大学への進学者が増えた。 R6・212人(54%)	A:240人(61%)以上 B:220人(56%)以上 C:200人(50%)以上 D:200人(50%)未満		164人	
				【成果指標】 ●難関国立大学・国公立大学への合格者が増えた。 R6・16名	A:国立大10名以上 B:国公立大15名以上 C:国公立大10名以上 D:国立大10名未満		21人	
【成果指標】 ●情報工学部への進学者が増えた。 R6・13名				A:30名以上 B:20名以上 C:10名以上 D:10名未満		15人		
③ ●難関国立大学・国立大学合格者増に向けた取り組みを強化する。	進路指導課 学年会 教科会							
④ ●デジタル人材の育成を図る。	進路指導課 学年会 教科会(情報) キャリア教育							

令和7年度 金沢学院大学附属高等学校 学校評価 NO2

教育方針	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	達成度判断基準	評価		改善策
						前期	後期	
2 ●高い志と意欲を持って主体的に学び、未来を切り拓いていく力を育てる	① ●生徒が主体的に取り組み、より確かな学力を身に付けることができるよう「分かる授業」づくりを推進するとともに、進路に合わせた教育課程を編成する。	教務課 教科会 学力向上委員会	●各教科ごとにつけたい力・評価項目を明確にし、小テストや定期テスト等で定着度を確認しながら分かる授業づくりを進めている。 ●新学習指導要領に対応したカリキュラム・観点別評価を作成し、実践を進めている。 ●各教室にプロジェクターを常設するとともに、各担任にChromebookを貸与し、校務支援システムの活用やICT教育が推進できる条件整備に努めており、積極的に活用を図っている。 ●生徒全員にChromebookを持たせ、各教科で積極的に活用を図っている。 ●1年生はスタディサプリ、2年生はマナトレ、ワンウィークトライアル、自学ノート等を活用し、自己分析と弱点強化に取り組んでいる。また、英検や漢検についても学年と教科で連携し、一人でも多くの資格取得を目指した取り組みを進めている。 ●国語、英語の朝学習を実施し、満点がとれるまで再テストを行うなど、基礎学力の向上と漢字検定、英語検定の合格を目指すこととしている。併せて、最後までやり抜く力を育成したいと考えている。	【努力指標】 ●本校は分かる授業の実現によって生徒の自信や意欲が育つよう授業が工夫されている。 R6後期・83%	【保護者アンケート】 A:85%以上 B:80%以上 C:75%以上 D:75%未満	81%	81%	
				【努力指標】 ●本校は進路に合わせた教育課程が編成(選択科目の設定)されている。 R6後期・88%	【保護者アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	87%	84%	
				【成果指標】 ●ベル着できている。 R6後期・97%	【生徒アンケート】 A:99%以上 B:96%以上 C:93%以上 D:90%未満	98%	98%	
				【努力指標】 ●授業中は姿勢・居眠り等に気を付けている。 R6後期・85%	【生徒アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	87%	87%	
				【努力指標】 ●予習をして授業に参加している。 R6後期・44%	【生徒アンケート】 A:45%以上 B:40%以上 C:35%以上 D:30%未満	42%	45%	
				【成果指標】 ●スポーツ実習にしっかりと取り組み、専門性を高めることができた。	【生徒アンケート(スポーツコース)】 A:90%以上 B:85%以上 C:80%以上 D:80%未満	97%		A
				【努力指標】 ●授業の中で教員がタブレットやプロジェクターを積極的に活用している R6後期・82%	A:87%以上 B:80%以上 C:75%以上 D:75%未満	80%	80%	
				【成果指標】 ●漢字検定の取得者が増えた。(3年間 3級以上) R6後期・49%	A:75%以上 B:70%以上 C:65%以上 D:65%未満			55%
				【成果指標】 ●英語検定の取得者が増えた。(3年間 3級以上) R6後期・31%	A:50%以上 B:40%以上 C:35%以上 D:35%未満			45%
				【努力指標】 ●基礎学力が身についた生徒が増えた。(基礎学力診断テスト) R6後期・33%	A:Cゾーン以上が45%以上 B:Cゾーン以上が42%以上 C:Cゾーン以上が40%以上 D:Cゾーンが40%未満			28%
				【成果指標】 ●朝学習で学習習慣を定着させることができた。 R6後期・89%	【3年生徒アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満			90%
				【成果指標】 ●自学ノートを活用し、自分の学力を高めることができた。 R6後期・90%	【3年生徒アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満			92%
② ●Chromebookやタブレット、Classi等、ICT機器の積極的な活用を図る。	教務課 情報(機器) 管理委員会							
③ ●各種検定の合格率向上に向けた取り組みを推進する。	国語科 英語科 学年会 教務課							
④ ●基礎学力の定着に向けた取り組みを工夫する。	学年会 教科会 学力向上委員会							

令和7年度 金沢学院大学附属高等学校 学校評価 NO3

教育方針	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	達成度判断基準	評価		改善策
						前期	後期	
3 ●他者に対する感謝の心をもって礼節ある行動ができる力を育てる	① ●一人一人の生徒が育つ「オーダーメイド」な生徒指導を推進する。	生徒指導課 学年会 担任	●定期面談や生活アンケートを通じ、生徒理解に努めるとともに、その情報を学年全体で共有しながら、一人一人に応じた指導・助言を心がけている。 ●些細な内容であっても家庭連絡し、保護者と連携した指導ができるように努めている。 ●挨拶やマナー、授業規律、服装容儀について、目指す姿を教職員で共通理解しながら、学校全体で取り組んでいる。 ●朝、休み時間、昼食等に全職員で校内を巡回し、生徒とコミュニケーションをとるとともに、いじめや問題行動等がないか状況把握に努めている。	【満足度指標】 ●本校は生徒一人一人の悩みに応じた親身な相談や指導がされている。 R6後期・80%	【保護者アンケート】 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	79%	79%	
				【満足度指標】 ●本校は生徒の生活について、家庭と十分に連携を図っている。 R6後期・80%	【保護者アンケート】 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	75%	78%	
				【満足度指標】 ●先生とコミュニケーションがとれている。 R6後期・93%	【生徒アンケート】 A:98%以上 B:95%以上 C:90%以上 D:85%未満	93%	93%	
				【成果指標】 ●転退学者を減らすことができた。 R6・・・38人 R7・・・27人	A:前年比-20% B:前年比-10% C:前年比±0% D:前年比+10%		-29%	
	② ●学院スピリット「笑顔で挨拶、感謝の心と礼節ある行動、ひたむきに頑張る学院高生」を具現化する活動を実践する。	生徒指導課 生徒会課 学年会 部活動顧問	●生徒会による挨拶運動等を通じて、主体的によりよい学校をつくろうとする雰囲気醸成しようと努めている。 ●地域に愛される学校を目指し、地域の方への挨拶を呼びかけている。 ●生徒の自己有用感を高め、自信を持って行動できるようにするために、良さを褒めて認める指導を心がけている。 ●外部機関と連携したネットモラル講座等に取り組み、ネットトラブルの未然防止に努めている。 ●18歳成人に向け、巣立ちセミナーや主権者教育を実施している。 ●毎年、スクールバスのコースや時間、本数、料金等を見直すことで、利便性を向上させるとともに、乗車マナーに関する指導を徹底し、より快適で安全性の高い通学になるように努めている。 ●誰一人も取り残さないを合言葉に、様々な取り組みを工夫し、転退学者の削減に努めている。 ●校務支援システム(メソフィア)や教職員ネットワークを積極活用し、生徒情報や指導状況の可視化、情報共有の円滑化を推進し、一人ひとりに応じた適切な指導を目指している。 ●教育相談委員会や学年会、学校保健委員会等で課題のある生徒の支援について共通理解を図っている。	【満足度指標】 ●本校は挨拶やマナーなどの基本的生活習慣に関する指導がされている。 R6後期・88%	【保護者アンケート】 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	90%	88%	
				【成果指標】 ●遅刻をする生徒を減らすことができた。(年間件数)	A:前年比-20% B:前年比-10% C:前年比±0% D:前年比+10%			
				【成果指標】 ●特別指導を受ける生徒を減らすことができた。(年間件数 反省書+始末書)	A:前年比-20% B:前年比-10% C:前年比±0% D:前年比+10%			
				【成果指標】 ●携帯電話指導を受ける生徒を減らすことができた。(年間件数)	A:前年比-20% B:前年比-10% C:前年比±0% D:前年比+10%			
				【努力指標】 ●金沢学院大学附属高校の挨拶をしている。 R6後期・94%	【生徒アンケート】 A:98%以上 B:96%以上 C:94%以上 D:94%未満	95%	95%	
				【成果指標】 ●規則正しい生活をしている。 R6後期・86%	【生徒アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	84%	87%	
				【努力指標】 ●本校はいじめの防止・早期発見に努め、安全・安心な学校運営に努めている。 R6後期・82%	【保護者アンケート】 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	83%	84%	
				【満足度指標】 ●本校は登下校の安全や交通事故防止のため、適切な指導がなされている。 R6後期・88%	【保護者アンケート】 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	85%	86%	
③ ●安全・安心な学校づくりを推進する。	生徒指導課 生徒会課 総務課 学年会	●登下校時に社会のルール・マナーを守っている。 R6後期・99%	【努力指標】 ●登下校時に社会のルール・マナーを守っている。 R6後期・99%	【生徒アンケート】 A:98%以上 B:96%以上 C:94%以上 D:92%未満	99%	99%		
			【満足度指標】 ●友人関係はうまくいっている。 R6後期・97%	【生徒アンケート】 A:99%以上 B:98%以上 C:97%以上 D:97%未満	96%	95%		
			【満足度指標】 ●学校は居心地がよい。 R6後期・92%	【生徒アンケート】 A:94%以上 B:92%以上 C:90%以上 D:90%未満	92%	92%		
			【満足度指標】 ●本校は校舎やグラウンドなどの施設・設備を整備し、生徒の安全を確保している。 R6後期・92%	【保護者アンケート】 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	92%	91%		
			【満足度指標】 ●スクールバスで安心して通わせることができている。 R6後期・92%	【保護者アンケート】 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満	91%	89%		

令和7年度 金沢学院大学附属高等学校 学校評価 NO4

教育方針	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	達成度判断基準	評価		改善策
						前期	後期	
4 ●何事にもひたむきに取り組み、最後まで諦めない心とたくましい身体を育てる	●困難を乗り越える強い心と体を育てる部活動指導を実践する。	部活動顧問 生徒会課	●部活動で育てる力を共通理解し、全国に通用する競技力だけでなく、豊かな人間性や社会性を身につけた生徒を育成することとしている。 ●入寮している部の顧問だけでなく、教職員全員で寮生を見守り育てるように連携を図っている。 ●寮生活の指針・寮則の徹底、寮行事の企画など、これまでの取り組みを見直し、生徒の自治力を育てる寮教育の再構築を図ることとしている。 ●高校相撲金沢大会の応援、清鐘祭・陸上競技大会の企画・運営を通して、生徒の充実感や成就感を高めている。 ●常時活動に確実に取り組ませるなど、委員会活動の活性化を図り、学校の一員であることの自覚を高めている。 ●学院ブランドの取り組みの継続【こだわりの挨拶・ベル着】に加え、学級ごとにNO1を目指す「The Best of the Best」の取り組みを生徒主体に進め、自己有用感の育成に努めることとしている。	【満足度指標】 ●本校は生徒会活動や部活動に関して、適切な指導や生徒の活動が支援されている。 R6後期・85%	【保護者アンケート】 A:90%以上 B:85%以上 C:80%以上 D:80%未満	82%	83%	
				【成果指標】 ●部活動について、主体的、意欲的に取り組むことができた。 R6・83%	【3年生徒アンケート】 A:85%以上 B:80%以上 C:75%以上 D:75%未満		85%	
				【満足度指標】 ●部活動について、達成感を得ることができた。 R6・82%	【3年生徒アンケート】 A:85%以上 B:80%以上 C:75%以上 D:75%未満		84%	
	●安全・安心で、自主性・主体性が育つ寮教育を推進する。	寮教育委員会 部活動顧問	●学院ブランドの取り組みの継続【こだわりの挨拶・ベル着】に加え、学級ごとにNO1を目指す「The Best of the Best」の取り組みを生徒主体に進め、自己有用感の育成に努めることとしている。	【満足度指標】 ●本校は寮生に安心できる環境が整備されている。 R6後期・71%	【保護者アンケート】 A:85%以上 B:80%以上 C:75%以上 D:75%未満	63%	63%	
				【満足度指標】 ●本校は寮生が学習できる環境を整えている。 R6後期・77%	【保護者アンケート】 A:85%以上 B:80%以上 C:75%以上 D:75%未満	61%	61%	
				【成果指標】 ●委員会主導の挨拶運動に参加する生徒を増やすことができた。(参加率)	A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満		今年度は部活動ごとに実施	
	●生徒の主体性や自己有用感、自治力を育む生徒会活動を推進する。	生徒会課 学年会	●クラス目標を意識して学校生活を送ることができた。 R6・97%	【満足度指標】 ●クラス目標を意識して学校生活を送ることができた。 R6・97%	【3年生徒アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満		97%	A
				【成果指標】 ●清鐘祭への一般来場者が増えた。 R6後期・835人	A:1000人以上 B:800人以上 C:700人以上 D:700人未満	1454人	A	
				【満足度指標】 ●本校は有意義な学校行事(文化祭・スポーツ祭、遠足、修学旅行など)が設定されている。 R6後期・92%	【保護者アンケート】 A:80%以上 B:75%以上 C:70%以上 D:70%未満	90%	92%	A

令和7年度 金沢学院大学附属高等学校 学校評価 NO5

教育方針	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	達成度判断基準	評価		改善策
						前期	後期	
5 ●保護者と連携した開かれた学校づくり、満足度の高い学校づくり、多くの中学生に志願してもらえる魅力ある学校づくりに努める	●ホームページや保護者メール、Instagram等のSNS、各種便り等を利用し、積極的に学校情報を発信する。	入試広報課 総務課 情報(機器) 管理委員会	●ホームページを毎日更新し、学校の様子や考え方を伝えることで、保護者の学校の理解を深めるように努めている。 ●Instagramでの学校情報発信も行っており、在校生、中学生にも広く伝えたいと考えている。 ●保護者や生徒の悩みや思いに対しては、担任や部活動顧問だけでなく、学年や学校全体で誠実に対応するように心がけている。そのための報告・連絡・相談を徹底するようにしている。 ●中学生やその保護者対象のオープンスクール・オープンクラブでは、本校の良さをよりアピールできる内容を検討している。 ●生徒は学校での生活に満足している。 R6後期・86%	【満足度指標】 ●本校は教育方針がわかりやすく示されている。 R6後期・89%	【保護者アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	87%	86%	
				【満足度指標】 ●本校は特色ある学校づくりがなされている。 R6後期・92%	【保護者アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	90%	89%	
				【成果指標】 ●Instagramのフォロワー数が増えた。 R6・2700名	A:4000名以上 B:3500名以上 C:3000名以上 D:3000名未満		3472名	C
	●一人一人に応じた進路指導、学習指導、部活動指導、生活指導を実践し、自己実現を支援する。	全課 全職員	●学習塾へは、ポスターや学校案内を持参するだけでなく、繰り返し足を運び、本校の良さを伝えるように心がける。また、各塾出身の生徒の状況を知らせるなどして塾との信頼関係を構築している。 ●生徒募集はあらゆる機会を捉え、教職員全体で行う。そのために定期的に会議を行い、状況を共有している。 ●スクールバスを増便し、登校の利便性を高めている。 ●生徒の声を聞きながら制服を変更し、中学校へ積極的にアピールすることとしている。 ●近隣中学校へ積極的に足を運び関係づくりに努めている。	【満足度指標】 ●総合的に判断し、本校に入学させて良かった。 R6後期・87%	【保護者アンケート】 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:85%未満	84%	84%	
				【成果指標】 ●本校のオープンスクールに参加する中学生が増えた(第1回、第2回)。	A:420名以上 B:350名以上 C:300名以上 D:300名未満			
				【成果指標】 ●本校のオープンクラブに参加する中学生が増えた(第3回～第5回)。	A:300名以上 B:250名以上 C:200名以上 D:200名未満			
	●高校入試に係る各種行事において、本校の魅力がよりわかる内容を工夫するとともに、様々な方法で参加についての広報活動を実施する。特に部活動勧誘や特進生徒の勧誘においては、顧問や塾長のもとを繰り返し訪問し、関係づくりに取り組む。	入試広報課 総務課 部活動顧問	●生徒の声を聞きながら制服を変更し、中学校へ積極的にアピールすることとしている。 ●近隣中学校へ積極的に足を運び関係づくりに努めている。	【成果指標】 ●本校の学校・入試説明会等に参加する中学生が増えた。	A:250名以上 B:225名以上 C:200名以上 D:200名未満			
				【努力指標】 ●多くの学習塾を訪問し、ポスター・ちらしの配付、学校説明等を行うことができた。	A:200塾以上 B:180塾以上 C:150塾以上 D:150塾未満			
				【成果指標】 ●本校を志願する中学生が増えた。	A:1000名以上 B:900名以上 C:800名以上 D:800名未満		765人	D
			【成果指標】 ●本校に入学する中学生が増えた。	A:450名以上 B:420名以上(定員) C:400名以上 D:400名未満		393人	D	

今年度学校経営のキーワード

- “The Best of the Best” Project
- 将来やりたいことをするために、今やるべきことをする
- すぐやる みんなでやる それを続ける
- 生徒が自分の成長を実感できる学校・自ら考え行動し自分の選択に責任を持つ生徒に
- わからないことがわかるようになるのが勉強・できないことができるようになるのが学校